

きじ鍋を求めて並ぶ多くの客



きじ料理に長蛇の列

◎きじ鍋まつり

町の特産の「きじ」をメインに地元産の野菜や商品を販売する「きじ鍋まつり」は2月18日、鬼北町農業公社で行われ、町内外から訪れた大勢の人でにぎわいました。

会場には、きじ工房が出店したきじ鍋やきじバーガーの販売店を始め、地元産の野菜やどぶろくなどを販売する店舗8店が軒を連ねました。その他、「愛治ちんどんクラブ」が生演奏を披露。

来場者は、食事、買い物やきじの羽のアクセサリー作りなどを楽しみ、「鬼北産」を堪能していました。

保存会員による舞の披露



勇壮な舞に7組が安産祈願

◎節安花とび踊り

町指定無形民俗文化財に指定されている「節安花とび踊り」の奉納が2月12日、節安薬師堂父野川上で行われました。

節安花とび踊りは保存会（川平定計会長・会員21人）の会員らが、節安のお薬師様に安産や家内安全を祈願するという催しで、この日は出産を控えた7組の家族や大勢の見物客らが訪れました。

はちまき、たすき、わらじなどの衣装に身を包んだ会員らは、白刃を振りながら丹精込めて舞を披露し、訪れた人たちの安産や家内安全を祈願していました。

【写真】鬼北町商工会

特別講演をする森繁樹園長



日常ケアや看取り介護の大切さ訴える

◎鬼北の医療と介護の未来を考えるシンポジウム

鬼北地域の介護、医療のさらなる発展や行政との連携強化を目的とした「鬼北の医療と介護の未来を考えるシンポジウム」は2月25日、近永公民館で開催されました。

内容は、基調提言、講演、実践報告やシンポジウムなどで、特別養護老人ホーム敬老園の森繁樹園長は、特別講演で「人生の最後まで、その人らしく生活していくための支援が必要」と講演しました。

来場者で埋め尽くされた近永公民館の講堂が、近年の医療や介護に対する関心の高さを物語っているようでした。

バンド演奏とダンスを楽しむ来場者



迫力の演奏と華麗なダンスを満喫

◎音楽を楽しむ集い

「音楽を楽しむ集い」は2月18日、日吉住民センターで行われ、町内外から約70人が参加しました。

鬼北町文化協会の芝香会長「清水の乾杯とともに幕を開けた集いでは、4団体のバンドによる生演奏や鬼北スポーツダンスサークルによる社交ダンスが披露されました。

会場にはバイキング料理が用意されており、訪れた人たちはワインや料理に舌鼓を打ちながら、ダンスやバンド演奏を楽しんでいました。